

令和5年/2023

No.40
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 吉玉典生

新年あけましておめでとうございます。良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、『ジュニア科学者の翼』は新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染防止を最優先に考えて令和2年・3年と2年続けて中止しました。そして新型コロナウイルス変異株の感染拡大が続いている昨年、感染防止に気をつけて3年振りに20回目を実施することができました。参加した中学生や学校関係者の皆様方の期待の大きさを、あらためて実感いたしました。九州保健福祉大学と連携して実施しています「ジュニア科学スクール（体験学習）」は中学校では学習できない最先端の科学講座で、中学生の皆さんに大変好評です。これらの事業は今後も続けていきたいと思っております。

また、22回となりました『野口賞』授与事業では3件の応募があり、今回は修電舎より応募のありました研究開発が「奨励賞」を受賞しました。

これらの事業を含め計画しました事業の具体的な実施状況は別紙のとおりです。

昨年12月、旧「野口記念館」が新たに「野口遵記念館」として開館いたしました。すばらしい施設です。この施設の中に、＜野口遵顕彰ギャラリー＞が設けられています。野口遵翁の人柄や事業に対する真摯な姿勢、延岡市発展の偉大な功績などが分かりやすく紹介されています。多くの皆さんに是非ご覧いただきたいと願っています。

野口遵顕彰会は、本年も活動の一層の充実に努めてまいります。今後とも皆様方の変わらぬご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月

副読本マンガ版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

小学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」（B5版マンガ版）を、6～7月に延岡市内の小学校28校の4年生全員に配付しました。（計1,240冊）

延岡市教育委員会は副読本「わたしたちの郷土延岡市」を小学校3・4年生に配付していますが、その中に、“延岡にかかわる偉人”の一人として野口遵翁が取り上げられています。小学生の皆さんが学習する際に、野口遵翁をよく理解してもらえるようにとの思いを込めて配付しているものです。各小学校では朝の読書の時間や総合学習の時間などに活用しています。なお、今回で8回目の配付となりました。



青少年科学技術派遣研修事業

《第20回『ジュニア科学者の翼』》

毎年夏休み期間中に3泊4日の日程で、中学2年生12名を関東地区にある科学館、研究所に派遣していますが、令和2年・3年と日本各地で新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、残念ですが2年続けて中止しました。

令和4年もこのウイルスの変異株の感染拡大が続いていましたが、延岡市教育委員会と協議の結果、予防ワクチン接種が全国的に進み感染拡大防止に効果を発揮しており、また若者の重症化の心配が少ないことなどから第20回として実施することになりました。

そして、8月23日（火）から26日（金）の3泊4日の日程で、中学2年生11名と引率の先生合わせて12名を派遣しました。3年ぶりの実施となりましたが、参加した中学生、引率の先生、学校関係者等からこの事業のすばらしさの感想が寄せられ、あらためてこの事業への期待の大きさを実感しました。



第8回「野口遵翁生誕祭」

《 — 延岡市と共催して開催 — 》

野口遵翁の生誕の日である7月26日（火）に延岡市と野口遵顕彰会が共催して開催しました。

野口記念館が建設工事中のため昨年に引き続いて旭化成向陽倶楽部と隣接する野口遵銅像前にて行いました。今回も、新型コロナウイルス感染防止のため昨年同様内容を縮小して、関係者を中心に実施しました。

延岡市幹部や野口遵顕彰会役員など30名の皆さんの出席のもと、「野口遵翁への祝いの献花」、主催者あいさつ、来賓あいさつの後、工事が着々と進められています野口遵記念館のその後の

工事の進捗状況などについて、延岡市「野口遵記念館建設室」の担当者から詳しく説明を聞きました。

終わりに、出席者全員が野口遵翁の遺影に献花しその功績を偲び感謝しました。



第22回『野口賞』授与事業

宮崎県内を拠点に独自の事業拡大、研究開発、技術開発を行い、顕著な業績を上げた企業や個人などを募集・選考して賞状と賞金を授与しています。今回は3件の応募がありました。

「選考委員会」にて慎重かつ厳正な審査の結果、(株)修電舎より応募のありました研究開発〈津波や洪水などの自然災害から重要施設の浸水被害を低減する『止水ダンパ』の開発〉に対し、「産業振興奨励賞」（賞金50万円）を授与しました。

受賞しました研究開発の具体的な内容は次のとおりです。

〈「産業振興奨励賞」〉

◇受賞者

(株)修電舎 常務取締役	甲 斐 哲次郎 様
” 環境機器事業部 課長	小 田 裕 一 様
” ”	井野内 悟 史 様

◇研究開発の名称

〈津波や洪水などの自然災害から重要施設の浸水被害を低減する『止水ダンパ』の開発〉

◇津波や洪水などにより空調ダクトからダクトが水路となって侵入しようとする水を防ぐステンレス製の装置『止水ダンパ』で、この『止水ダンパ』は水重量がかかるとロックが外れて蓋が縮まり、水が入らない仕組みになっている。

◇授賞理由

- ①津波による被害が社会的にクローズアップされている状況の中で、本件の「止水ダンパ」の開発は、社会的な意義は大きいと評価する。
- ②技術的にも特許を取得しており、実際に原子力発電所に設置されている。
- ③機構の開発においては、浸水時の浮力を起動に用いることや、位置エネルギーを利用して止水を行うなど、優れた着眼であると高く評価する。
- ④地元企業から資材を調達したり、製作、検査を依頼したり、地域経済への効果もありこの点を評価する。

「授賞式」は12月5日（月）マリエールオークパイン延岡にて執り行い表彰状と賞金を授与しました。そして、受賞者から受賞されたテーマについて「講演」をしていただきました。

なお、この「授賞式」は一般社団法人「宮崎県工業会」県北地区部会の例会を兼ねて共催で実施しました。



『ジュニア科学スクール』

≪ 身近な微生物を用いた体験学習とがん細胞観察 ≫ —九州保健福祉大学との連携事業—

小・中学生の科学への関心を啓発する事業として、令和2年から九州保健福祉大学と連携して、中学生を対象に同大学の施設を活用して体験学習を実施しています。

今回は第4回目として土々呂中学校の生徒と先生10名が参加しました。

なお、この体験学習は、九州保健福祉大学が地元にあることから実現できるものです。5回目、6回目は、2月18日（土）に恒富中学校、2月25日（土）に南中学校の生徒の皆さんを対象に実施します。



＜今回の体験学習の概要＞

- ①午前中は顕微鏡の使い方を学んだ後、正常細胞とがん細胞（標本）を比較観察しました。細胞がガン化すると、細胞の形や色にバラツキがでることや核の大きさも変わることを学びました。
- ②身近な微生物として納豆菌と酵母菌を用いて、標本を各自でつくって観察しました。この作業に危険性はないのですが、危険な細胞（目に見えない）から自分の身を守るため、標本をつくる際には必ず防護服（ガウンと手袋）を着用します。その防護服を実際に着用するとともに脱ぎ方を教わりました。
- ③納豆菌の芽胞も観察しましたが、芽胞は耐久性が高く100度で煮ても死なないなどを学習しました。
- ④生きている菌をそのまま観察し、運動性のある菌とない菌があることを学びました。

＜参加した土々呂中学校の生徒（1年生）の感想＞

「めちゃくちゃ面白かった。ガン細胞が、まとまっているのには驚いた。」

『“ものづくり”体験学習』事業

≪ ペットボトルを使って風力発電機をつくる!! ≫

小学校5・6年生を対象に、実験や組立てなどを通して科学技術への関心を高め楽しみながら学習する機会として、『ペットボトルを使って風力発電機をつくる』をテーマに各小学校を訪問して実施しています。

今年度から、事業名称を「ジュニア科学スクール」から「“ものづくり”体験学習」とあらためました。新型コロナウイルス感染拡大などにより実施を見合わせていましたが、3学期からようやく実施できるようになりました。



- ① 2月20日(月) 9:40～12:40
旭小学校 6年生 2クラス 73名
- ② 3月8日(木) 10:00～11:40
港小学校 5・6年生 5名

“『ジュニア科学者の翼』派遣研修生の集い”および『ジュニア科学者の翼派遣研修生OB会』結成準備



青少年科学技術派遣研修生事業『ジュニア科学者の翼』が今年度20回を終了したのを機会に、第16回～第20回の派遣研修生と引率の先生に案内して、研修の成果とその後の進路や考え方にどう生かされているのかを確認する。また、それぞれの回に参加したメンバーが久しぶりに顔を合わせてお互いの友情を深める機会として昨年12月4日(土)に計画しましたが、学校行事や土曜授業などのために参加者が少なかったため(約10名)、3月中にあらためて計画します。

その時に、合わせて『ジュニア科学者の翼派遣研修生OB会』結成について、参加者の皆さんの意向を確認の上、その後の準備作業を進めたいと考えています。

『延岡発展の父と母に思う!!』作文コンクール

—延岡市制施行90周年協賛事業—

延岡市は本年「市制施行90周年」を迎えました(市制施行日 昭和8年(1933年)2月11日)初代市長 仲田又次郎氏は自らの著書の中で『延岡中興の父は内藤家、新興の母は野口遵翁』と讃えています。

しかし、この言葉は現在市民の間ではほとんど忘れられようとしています。まさに延岡発展のために大きな功績を残されました延岡中興の父 内藤政舉公(内藤家)と旭化成創業者延岡新興の母 野口遵翁を思い起こし、感謝の意を込めてこの言葉を忘れないで欲しいと願っています。

特に、小、中、高校生の皆さんに「市制施行90周年」を迎えたこの機会にしっかり理解し、いつまでも覚えておいて欲しいと願いを込めて、内藤家顕彰会と共に共催してこの事業を実施します。

12月初めに、小学校28校、中学校16校、高等学校9校の合わせて53校にポスターを添えて募集案内をしました。その結果、小学校8校より43名、中学校2校より146名の応募があり、現在選考をおこなっている最中です。

小学校低学年、同高学年、中学生の部門別に、最優秀賞1点、優秀賞3点、奨励賞5点を選考して、表彰状と副賞を授与します。(3月初旬の予定)



創立20周年記念事業『特別講演会』

「野口遵顕彰会」創立20周年を記念し、そして「野口遵記念館」新築開館を記念して『特別講演会』を開催することを予定しています。

講師には著名な方をお願いすることで検討していますが、決まり次第お知らせいたします。

ホームページアドレス変更のお知らせ

■このほど、ホームページのアドレスを変更しましたのでお知らせいたします。新しいアドレスは次のとおりです。

事業の実施状況や冊子「のべおか新興の母 野口遵」の全文などを掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

<ホームページアドレス>

<https://ability-gate.heteml.net/noguti-h-a>



ご意見・ご提案について(お願い)

野口顕彰会活動や取組み事業に対するご意見・ご提案をお聞かせください。事業計画や活動に生かしていきたいと思えます。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしくお願ひいたします。

「賛助会員」募集について(お願い)

野口顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会をどうぞよろしくお願ひいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 ; (個人) 1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です。

ご入会を希望される方は、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0053

宮崎県延岡市幸町1丁目101番地

延岡駅西口街区ビル3階 延岡商工会議所内

TEL (0982) 33-6666

FAX (0982) 33-6682

